

春季企画展「出版文化とわかやま一本を刷り、絵に刷られー」

## 展示のみどころ

江戸時代、和歌山には多くの本屋さん！

「紀伊国名所図会」とその板木（板木は個人蔵）

江戸時代の城下町・和歌山には、いくつもの本屋がありました。本屋では、江戸や大坂などの大都市の本屋と共同で出版した本を売るほか、自分たちで印刷・販売する場合もありました。「紀伊国名所図会」は、江戸時代の和歌山を紹介するガイドブック。本を印刷するために彫られた板木もともに展示します。



「紀伊国名所図会」(上)  
とその板木(下)

紀州徳川家の旧蔵品！

紀州の儒学者そろい踏みの漢詩の巻物

諸先生釣舟巻

和歌山で出版業が広がった背景の一つに、再興された藩校・学習館の存在がありました。学習館に集う学者たちは、和歌山の本屋を通じて多くの本を出版したのです。本資料は、学習館で活躍した

儒学者たちが漢詩をよせた巻物で、紀州徳川家の旧蔵品です。初公開。

描かれた和歌山！名所や和歌山を題材にした浮世絵

歌川広重画 六十余州名所図会 紀伊和歌之浦

江戸時代に広まった浮世絵は、役者や名所などさまざまな題材を描き、世の中に広まりました。本展覧会では、和歌浦などの名所や和歌山を舞台とした芝居絵を紹介します。



大河ドラマでも話題！ 蔦屋重三郎と和歌山の関係

興歌かひあはせ（個人蔵）

諸国六玉河 紀伊高野之玉河

大河ドラマで取り上げられている蔦屋重三郎の出版物には、和歌山に関係するものもあります。和歌山や京・大坂の本屋と蔦屋が共に出版した狂歌の本（興歌かひあはせ）や、数代あとの蔦屋重三郎が版元となっている紀州を描いた浮世絵（諸国六玉川）があります。



諸国六玉河



「興歌かひあはせ」刊記